

今年も育苗期間中は暑くなる予報です！ 健苗育成で初期茎数の確保につなげましょう！

1 今後の天気（1か月予報（4/5～5/4） 仙台管区气象台 4/3 発表）

気温は高い予想で、特に、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。

2 健苗育成のための管理（無加温出芽の場合）

マルチ除去前が最も高温に
弱い時期です。丁寧に温度
管理し、遅れずにマルチを
除去しましょう！
※マルチ除去の目安
→ハウス育苗で2.5cm(0.8葉)

生育ステージ	温度の目安	
	昼間	夜間
出芽期（マルチ被覆）	30～32℃	
緑化期 ～1.0葉期	25℃	15℃
硬化期 1.5葉期～	20～25℃	8℃以上
移植1週間前～	昼夜ともハウスを開放し、外気に慣らす	

○晴天時、育苗ハウス・トンネル内はかなりの高温になります。苗ヤケや徒長苗にならないよう、適宜遮光資材を活用し、ハウスのサイドやトンネルの裾は開放しましょう。ただし、遮光資材のかけっ放しは軟弱徒長苗につながるため、天気に合わせてかけ下ろしましょう。

○かん水は、地温・気温が上がる前の朝のうちに、たっぷりと行いましょう。

夕方以降のかん水は地温の低下を招き、ムレ苗や根張りの悪い軟弱苗につながります。

○追肥は稚苗（乾糶 150g/箱）で1.8葉期に窒素成分1g/箱施用します。

○プール育苗では、1.5葉期に床土が隠れる程度に水を入れます。

⚠ 高密度播種苗（乾糶 250～300g 程度/箱）の場合、特に以下の点に注意しましょう ⚠

- ①播種量が多いため苗が徒長しやすい⇒温度管理は稚苗育苗以上に丁寧に
- ②1箱の苗数が多いため吸水・蒸散も多い⇒かん水は稚苗育苗よりもたっぷりと
- ③稚苗育苗に比べ老化のスピードが早い⇒育苗日数は稚苗育苗より短い日数で

○育苗中は病気に注意！病原菌の発生条件に注意し、適切な温度管理と水管理を！

病原菌	主な症状	発生条件	注意点と防除例
フザリウム	▲ 根や地際部に白～淡紅色のカビ	出芽～緑化期の低温	低温、過湿を避ける。 タチガレン液剤の土壌灌注（播種時又は発芽後）。
ピシウム（ムレ苗）	▲ カビは見えない。出芽後すぐに芽・根の急激な萎凋枯死の場合と、2～3葉期に急な萎凋枯死（ムレ苗）の場合がある。		
トリコデルマ	● 青緑色のカビの塊（胞子塊）が発生。 ▲ 葉の黄化激しい。	育苗土の低pH 水分不足	適切な温度管理。 ダコレート水和剤の灌注（播種時～緑化期）。
リゾプス	● 箱全体が白いカビで覆われる。	出芽時の高温 多湿	33℃以上の高温にしない。多湿にしない。 ダコニール1000の土壌灌注（播種時～緑化期）。
苗立枯細菌病 もみ枯細菌病	● 第2葉の葉身基部が黄白し枯死。 ● 坪状に発生。	高温、多湿	高温、多湿を避ける。発生した場合は苗を処分。

※農薬を使用する場合は、必ず使用方法・時期等を確認しましょう。

● 高温で発生しやすい ▲ 低温で発生しやすい

3 圃場の準備、土づくりの実施

- ・圃場の漏水対策として、**畔塗（畦畔補強）**を実施しましょう。
- ・地力の高い圃場ほど**早めに耕起して乾土効果**を発現させ、初期生育を促進しましょう。
※基肥一発施肥では、耕起（施肥日）と田植え日の期間が開きすぎると、イネの生育とのズレが生じ、施肥効果が低下する可能性があるので注意しましょう。
- ・耕起速度は速すぎないようにし、**作土深を15cm以上確保しましょう（図1）**。
- ・**代かきは土塊を残すように行いましょう（図2）**。
※代かきを何度も、また深く行くと、団粒構造や孔隙が失われます。活着の遅れや田ワキの発生による初期生育不良の原因となります。
- ・堆肥または土づくり資材を施用することで、土壌の通気性や養分保持能力が向上し、**異常気象（高温、低温、日照不足など）やいもち病等に対する抵抗力が高まります**。

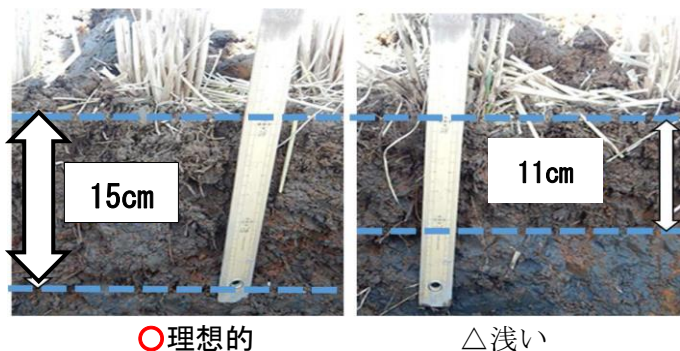


図1 理想的な作土深の確保

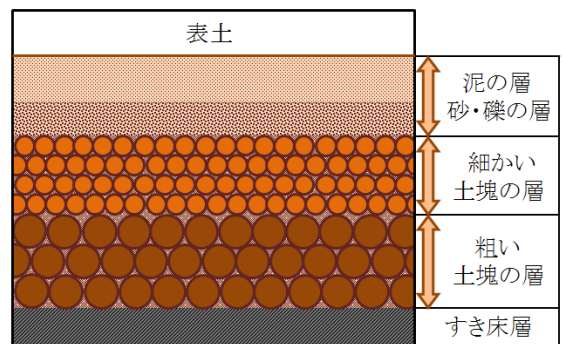


図2 理想的な代かき後の土壌

4 農薬の適正使用

水稻育苗を行った後に野菜等を栽培する予定の育苗ハウス内では、箱施用剤は施用しないでください。置床に残った農薬成分が後作の野菜等に吸収され、農薬の適用外使用となってしまうことがあります。箱施用剤の施用は、移植直前に圃場で実施してください。

酒田普及課 LINE

はじめました！

- ・米づくり情報
- ・生育ステージ毎の技術対策情報（写真や動画）
- ・生育診断圖の調査結果（6～7月、概ね10日おき）等

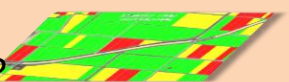
「友だち追加」お願いします！



↑友だち追加
こちら

スマートつや姫

使ってみませんか？



スマホやパソコンで1筆ごとの
生育状況と生育予測がわかります！

- ① 食味収量点検マップ
- ② 適期作業カレンダー
- ③ 穂肥診断マップ
- ④ 刈取適期マップ

～詳しくは JA 又は酒田農業技術普及課へ～

春季農作業事故防止運動強化期間！ 4／1～6／10
焦らず作業を進め、事故の無いように注意しましょう。

